

事業所名		こどもサポート教室ハニカム				支援プログラム		作成日		2025 年		4 月		21 日	
法人（事業所）理念		子どもたちが自分の可能性を最大限に引き出し、仲間と共に成長することを大切にしています。蜂の巣のように、個々の特性を活かしながら、協力し合い、支え合う環境を提供します。													
支援方針		・協力と共生 子どもたちが互いに助け合い、共に学ぶことで、社会性やコミュニケーション能力を育みます。 ・探求心の育成 周囲の世界に対する好奇心を大切に、子どもたちが自ら学び、考えるて行動する力を養います。 ・心の豊かさ 知識だけでなく、感情や人間関係の大切さを学び、心の豊かさを育む教育を提供します。													
営業時間			10 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無		あり なし				
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・施設や施設の指導員に慣れ安心して過ごせるよう、見守り声をかけていきます。 ・手洗いうがいや排泄、身支度、着替えなど一人ひとりのレベルに合わせて支援カードを使って伝えたり、時計やタイマーを使って視覚的に時間を伝えたり援助することで生活に必要な力を身につけていきます。													
	運動・感覚	・サッカークラスのトレーニングや集団活動での遊びのなかで指導員が身体の動かし方を丁寧に伝えていくことで適切な身体の動かし方を知らせていきます。 またビジョントレーニングやサッカークラスでキャッチボールなどを取り入れることで目と手の協応の向上を図ります。 ・正しい姿勢で学習に取り組めるようにしていきます。													
	認知・行動	・施設のルールや使い方を伝えルールを守って施設やものを大切に使う気持ちを持てるよう言葉をかけていきます。 ・集団活動やサッカークラス、日々の他児とのかかわりの中で自分で考えて解決する力をつけていきます。 ・子ども自身が目標設定、振り返りをおこなうことで時間やルールを意識させたり、達成できたことを褒めて自己肯定感を育てます。													
	言語コミュニケーション	・信頼できる大人や仲のよい友だちとの安心したかわりの中で自分の気持ちを適切に表現したり相手の気持ちに気づいていけるよう支援します。 ・集団活動のゲームやプリント学習を通じて相手に言葉で自分の気持ちや想いを伝えられるように支援します。													
	人間関係社会性	・個別に日常生活の困りごと・人間関係の振り返り、こんなときどうすればよかったのかを一緒に考えるなどのソーシャルスキルトレーニングをおこないます。 ・集団活動を通じて自分で自分の気持ちのコントロールの仕方など周囲への適切な言葉のかけ方を学びます。													
家族支援		・送迎時にその日取り組んだ課題やこどもの様子を伝え、気になることがあれば保護者にも報告し聞き取りをおこなう。サービス提供記録はアプリで送信しています。 ・関係者・関係機関との連携による支援体制を構築します。						移行支援		・具体的な意向を想定したこどもの発達評価をおこない保護者の意向確認や状況共有をおこないます。					
地域支援・地域連携		・地域の人々や団体と連携し、実践的な学びの場を提供します。地域社会とのつながりを大切に、子どもたちの成長に加速力をつけます。 ・地域の公共施設を利用し地域資源を活用しています。						職員の質の向上		・月に一回全体で教室内研修をおこないます。 ・事例検討会や研修に参加しこどもの特性に応じた対応など支援方法について学びます。					
主な行事等		・サッカークラス ・サッカー観戦 ・ピクニック													

事業所名		こどもサポート教室ハニカム				支援プログラム		作成日		2025 年		4 月		21 日	
法人（事業所）理念		子どもたちが自分の可能性を最大限に引き出し、仲間と共に成長することを大切にしています。蜂の巣のように、個々の特性を活かしながら、協力し合い、支え合う環境を提供します。													
支援方針		・協力と共生 子どもたちが互いに助け合い、共に学ぶことで、社会性やコミュニケーション能力を育みます。 ・探求心の育成 周囲の世界に対する好奇心を大切に、子どもたちが自ら学び、考えるて行動する力を養います。 ・心の豊かさ 知識だけでなく、感情や人間関係の大切さを学び、心の豊かさを育む教育を提供します。													
営業時間			10 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無		あり なし				
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・施設や施設の指導員に慣れ安心して過ごせるよう、見守り声をかけていきます。 ・手洗いうがいや排泄、身支度、着替えなど一人ひとりのレベルに合わせて支援カードを使って伝えたり、時計やタイマーを使って視覚的に時間を伝えたり援助することで生活に必要な力を身につけていきます。													
	運動・感覚	・サッカークラスのトレーニングや集団活動での遊びのなかで指導員が身体の動かし方を丁寧に伝えていくことで適切な身体の動かし方を知らせていきます。 またビジョントレーニングやサッカークラスでキャッチボールなどを取り入れることで目と手の協応の向上を図ります。 ・正しい姿勢で学習に取り組めるようにしていきます。													
	認知・行動	・施設のルールや使い方を伝えルールを守って施設やものを大切に使う気持ちを持てるよう言葉をかけていきます。 ・集団活動やサッカークラス、日々の他児とのかかわりの中で自分で考えて解決する力をつけていきます。 ・子ども自身が目標設定、振り返りをおこなうことで時間やルールを意識させたり、達成できたことを褒めて自己肯定感を育てます。													
	言語コミュニケーション	・信頼できる大人や仲のよい友だちとの安心したかわりの中で自分の気持ちを適切に表現したり相手の気持ちに気づいていけるよう支援します。 ・集団活動のゲームやプリント学習を通じて相手に言葉で自分の気持ちや想いを伝えられるように支援します。													
	人間関係社会性	・個別に日常生活の困りごと・人間関係の振り返り、こんなときどうすればよかったのかを一緒に考えるなどのソーシャルスキルトレーニングをおこないます。 ・集団活動を通じて自分で自分の気持ちのコントロールの仕方など周囲への適切な言葉のかけ方を学びます。													
家族支援		・送迎時にその日取り組んだ課題やこどもの様子を伝え、気になることがあれば保護者にも報告し聞き取りをおこなう。サービス提供記録はアプリで送信しています。 ・関係者・関係機関との連携による支援体制を構築します。						移行支援		・具体的な意向を想定したこどもの発達評価をおこない保護者の意向確認や状況共有をおこないます。					
地域支援・地域連携		・地域の人々や団体と連携し、実践的な学びの場を提供します。地域社会とのつながりを大切に、子どもたちの成長に加速力をつけます。 ・地域の公共施設を利用し地域資源を活用しています。						職員の質の向上		・月に一回全体で教室内研修をおこないます。 ・事例検討会や研修に参加しこどもの特性に応じた対応など支援方法について学びます。					
主な行事等		・サッカークラス ・サッカー観戦 ・ピクニック													